



笑顔で手を振る小林陵侑さん

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

笑顔でつなぐ五輪の象徴

焼走り近辺の道路で東京五輪聖火リレー

東京五輪の聖火リレーは6月16日、焼走り国際交流村近辺の道路で行われ、8人のランナーが笑顔で聖火をつなぎました。

コースは焼走り熔岩流展望台から岩手山銀河ステーションまでの1.36キロ。晴れ渡る空の下、ランナーたちは沿道からの声援に手を振ったり、トーチキス後に思い思いのポーズを取ったりしながら聖火をリレーしました。ゴール後、小林陵侑さんは「たくさんの人たちの前で楽しく走ることができた」と頬を緩めました。



トーチキス後にポーズを決める聖火ランナー



コイが運動会していると池を指さしてはしゃぐ児童たち

緑の中にぎやかな声

平館小の1、2年生がひょうたん池まで遠足

平館小1、2年生35人が6月11日、平館八幡宮付近にあるひょうたん池まで遠足をし、自然と触れ合いながら地域の名所への親しみを深めました。

2年生をリーダーに1、2年生合同で班行動。東屋で涼んだり、走り回って競争したりと楽しむ児童たちの声が池の水面を揺らしました。

2年の小笠原由奈さんは「テーブルの色がきれいだった。来たのは初めてだけど、楽しかったから次は家族と来たい」と興奮気味に話しました。



平館青商会と平館高美術部生徒が案内看板とテーブルの天板を制作し、設置(6月8日、ひょうたん池)



松尾中全校生徒や関係者ら約120人が八幡平山頂散策路などで外来植物を駆除(7月9日、見返峠付近)



犯罪のない明るい社会を目指して、岩手地区保護司会が内閣総理大臣メッセージを手交(7月1日、市役所)



神事を執り行う高橋数馬宮司(右)と参列者

社殿改修完了などを祝う

例大祭に併せて祝賀会を開催

大更八坂神社創建300年記念祝賀会は7月14日、同神社で開かれ、神事や記念事業報告などが行われました。祝賀会の後には、歌謡ショーや約400発の花火大会が行われ、多くの人を楽しみました。

同神社は昨年創建300年を迎え、記念事業として社殿の改修や境内の環境整備などを行い、改修した社殿には、伊勢神宮から譲与されたヒノキ用材を使用し、大更小の児童と西根中の生徒、平館高の美術部員が描いた天井画141枚が奉納されています。



事業成功に向けてビジョンを共有する関係者

遠隔診療で身近に健康を

メディテックバレーコンソーシアム設立総会

市メディテックバレーコンソーシアムが6月16日、ITを活用し、地方の医療と見守りを持続可能にする体制づくりを目的として設立総会を開きました。

本事業に参画した企業など関係者16人が出席。事務局から設立までの経緯の報告を受け、事業計画や予算、役員構成などを審議しました。

会長に選任された田村正彦市長は「国の交付金を活用した事業で、超高齢化社会が抱える問題を解決させる試みとなる。全面的に支援していきたい」と述べました。

愛情注いだ牛の晴れ舞台

共進会で育てた牛の優秀性競う

第15回市畜産共進会は7月9日、市畜産共進会場で開かれ、手塩にかけて育てられた牛41頭が出品されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、来場者を関係者のみとし、審査種別を黒毛和種に限定して開催。審査員は、1頭ずつ真剣なまなざしで発育の良さや体の幅、毛の艶などを確かめました。

田村正彦市長は「関係者の思いを源に開催することができた。和牛推進につなげたい」と意気込みました。



皮膚の厚さなどを細かくチェックする審査員

長年の奉仕活動を讃える

西根ライオネスクラブ感謝の慰労会

西根ライオンズクラブは6月16日、西根ライオネスクラブ解散に伴い、感謝の慰労会を八幡平ハイツで開きました。

田村正彦市長が同クラブの奉仕活動に対し、感謝状を贈呈。40年の歩みをまとめたDVD鑑賞などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

西根ライオネスクラブの遠藤純子会長は「大変なことも多かったが、今は達成感に満ち溢れている」とこれまでの活動を振り返りました。



西根ライオネスクラブ(赤いジャケット)を労う出席者



採用担当者と進路担当との活発な意見交換

若い息吹を呼び込もう

県内高等学校と市内企業の懇談会を開催

市企業懇談会は6月15日、県内実業高校などの進路担当者と会員企業の採用に関する意見交換の場として市企業懇談会・市商工会工業部会・県内高等学校との懇談会を開きました。

市内12の企業と県内6校が参加し、企業の採用条件や生徒の進路状況などの情報を交換しました。(株)岩手エッグデリカ伊藤浩二総務部長は「生徒の状況を聞ける場は少ないのでありがたい。本年度の採用に生かしたい」と期待を寄せました。



実際に使用されている道具を使い鑑識になりきる児童

学び考える未来の仕事

田頭小キャリア教育を実施

田頭小は7月5日、身近な社会や仕事、夢の実現に向けて関心をもってもらう「仕事をしている人の話を聞こう(キャリア教育)」を開きました。

児童たちは、講師の八幡平幹部交番菊池利穂巡査から警察官を目指したきっかけや仕事のやりがいなどを聞いた後、実際に現場で使用されている鑑識道具で指紋採取体験をして仕事の理解を深めました。

高橋義翔くんは「警察官になるのは大変だけどとてもカッコいいと思った」と目を輝かせました。

すなっぷギャラリー



雨が降る中、優勝を目指し参加者66人がプレー(7月7日、第16回市民パークゴルフ大会)



佐々木誠造さんの「ふくひめ号」が名誉賞を受賞(7月9日、第15回市畜産共進会)



音楽などを通じ、心を育んでもらおうと吉田水子企画が「おんがくおしぱい」を開催(6月24日、寄木学童)



岩手山山開きは新型コロナウイルス感染症の影響で神事のみ実施(7月1日、焼走りホール)



市芸能発表会のオープニングを飾った琴伝流琴麗会の皆さん(6月27日、市民センター)